

会議録

会議の名称	令和6年度 第4回西東京市地域公共交通会議
開催日時	令和7年1月16日（木）午前10時00分から午前11時00分まで
開催場所	西東京市役所 防災・保谷保健福祉総合センター6階講座室2
出席者	【委員】古厩委員（会長：まちづくり部長）、岡村委員、関根委員、土屋委員、富樫委員、小寺委員、佐藤委員、五十嵐委員（代理出席）、滝沢委員、小山委員、犬竹委員、大林委員、岩澤委員、下田委員
議題	西東京市地域公共交通計画の施策について (1) 施策3 公共交通空白地域における需要と状況に応じた移動手段導入の検討
報告	(1) 公共交通マップについて
その他	(1) 令和7年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定） (2) 各委員より
会議資料の名称	《配布資料》 資料1 お出かけに関するアンケート調査 報告書（案） 資料2-1 導入する移動手段（実証運行）の概要案 資料2-2 導入する移動手段（実証運行）の検討内容 資料2-3 導入する移動手段（実証運行）の検討スケジュール（予定） 資料3 令和7年度西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定）
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	
1 開 会 ○会 長： 会議開催にあたり、西東京市地域公共交通会議設置要綱第6第2項に規定する定足数、委員の過半数を満たしていることを報告する。 議事に先立ち、会議の公開についてお諮りする。当会議は、西東京市地域公共交通会議設置要綱第7の規定により、会議録も含め、原則公開となっている。公開でよろしいか。 ～全員賛成～ ○会 長： それでは、本日の会議については公開とする。 2 議 事 協議事項 西東京市地域公共交通計画の施策について ○会 長： まずは議題「施策3 公共交通空白地域における需要と状況に応じた移動手段導入の検討」について事務局より説明を求める。 ○事務局： 資料1の説明。 ○会 長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば発言願いたい。 ○委 員： 質問・意見なし	

- 会 長： 今後の議論の中で議案も含め使っていくものとなるので確認願いたい。
会議後、何かあれば事務局にお寄せいただくことにする。ご意見をいただく期限は1週間程度とする。
それでは一旦終了とする。事務局に説明の続きを求める。
- 事務局： 資料2-1、2-2、2-3の説明。
- 会 長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば発言願いたい。
- 委 員： 資料1の内容になるが、公共交通空白地域の回答者数が少ないことが気になる。
また、どこの地域でも田無駅までの移動手段は自転車や徒歩が圧倒的に多い結果から、300円で乗れることや所要時間が多少短くなるというメリットだけでは、移動手段を自転車や徒歩から実証運行に転換する人がどの程度となるか懸念がある。
乗ることでのメリット、例えば、乗車すれば駅周辺施設の割引券をもらえるなどがあるとよいのではないか。
利用者の想定は、市民のみなのか。
ルート案によっては、既存の公共交通機関との兼ね合いは、どう考えているのか。
- 事務局： 公共交通空白地域回答者数について、各丁目別の構成比に応じてアンケートを配布しており、概ね同様の比率で回答をいただけている。
乗車することのメリットについては、今後、内容等の周知とあわせて様々な面からPRしていきたいと考えている。
利用者については、市民のほか、市外在住で対象地域の在勤や在学者も想定している。ルートについては、既存のバス路線が通っていない場所、タクシーについては、乗合と個人利用で区別して整理している。
- 委 員： 道が狭い地域や交通規制がある道路でうまくルート設定をしているが、柳沢団地通り付近から田無駅までは、2.5kmとは言え、狭い道路を通行するため、巡航速度や乗降時間を考えると、所要時間が往復で30分は厳しい。柳沢団地通りではなく、MUF Gパークを起点にすると良いかもしれない。
どの程度市の負担で運行するか分からないが、持続性の観点から往復600円の需要がとれるか。
- 事務局： 所要時間については、現状1台での運行を考えているが、実証運行の中で2台での運行について経費の観点も含めて検討する。
- 委 員： 乗降場所については、目的地まで1km以上離れた地域に需要があるので、⑥と⑦の間は人口密度が低くとも乗降場所を設けたほうがよい。また、気軽に利用できるように200mから250m間隔で乗降場所があるとよい。
利用者が多くて運行間隔が厳しい場合は、ダイヤ調整を検討していくと

よいのではないか。また、出発点の変更を検討することや運行の中間で時間調整するなど、運行事業者と実証運行していく中で、検討した方がよい。

○事務局： 事務局も降車場所については、課題と認識している。乗車場所を設定することが難しい区間は、フリー降車制を導入することも考えている。

○委員： 車両の定員は、何人で検討しているか。定員によって、事業許可が異なる。決まっているようであればそれに合った事業許可を持っている事業者に限定して募集を行う方がよい。

また、区域運行の場合、時刻表がなく、利用者が明確に時間が分からないため、利用者へしっかり周知しないと事業者やドライバーへクレームとなり、負担が大きくなるのでトラブルのないよう丁寧に話を進めたい。

○事務局： 定員については、10人未満で検討している。事業者が決定したら、実証運行の内容や運行状況の把握について決めていく。例えば、高齢者の利用も考え、QRコードの読み取りからウェブサイトで運行状況が把握できればと検討している。

○会長： 現状の交通手段からの転換だけの需要だと限りがあるので、現在駅などに行けていない人に利用してもらい、地域参加してもらうことが実証運行の本来の目的である。目的にあった周知をしていく必要がある。

また、実証運行なので、その効果測定をできるとよい。

アンケートの報告書（案）と実証運行についてのご意見は、会議後に何かあれば事務局にお寄せいただくことにする。ご意見をいただく期限は1週間程度とする。

協議事項の「西東京市地域公共交通計画の施策について」については一旦ここで終了をさせていただく。

報告事項 (1) 公共交通マップについて

○会長： 報告事項「公共交通マップについて」の説明を事務局へ求める。

○事務局： 公共交通マップを作成したので報告。

○会長： 作成に協力いただいた交通事業者に感謝する。

報告事項の「公共交通マップについて」はここで終了をさせていただく。

その他 (1) 令和7年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定）

○会長： その他事項「令和7年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定）」の説明を事務局へ求める。

○事務局： 資料3の説明。

その他 (2) 各委員より

○会 長： 委員の皆様から、この場で伝えたいことがあれば発言願いたい。

○委 員： 発言なし

○会 長： 以上をもって令和6年度第4回西東京市地域公共交通会議を閉会する。

以上